



# 新潟支部会報

一般社団法人 大学女性協会新潟支部

2023 年 7 月 No.10

## 目次

2023 年度支部総会報告	1～2 頁	支部の動き	3 頁
2023 年度新潟支部奨学賞の募集について	2 頁	お知らせ	4 頁

## 2023 年度支部総会報告

日時： 2023 年 4 月 22 日 (土) 13:30～16:00 会場：クロスパルにいがた

**第一部** 2022 年度ホームズ奨学生採用記念講話  
**「スポーツ界における女性の立場改善をめざして」**  
 講師 宮本真菜さん 新潟医療福祉大学大学院  
 2022 年度大学女性協会国内奨学生 (ホームズ奨学生)



前列中央が宮本真菜さん 隣は賛助会員の佐藤拓一さん

高校時代から疑問に思っていた「女性アスリートの月経不順と栄養状態、心的不安の関係性」を明らかにするために、大学一年次の 3 月から調査と研究を続けてきた。自身が月経不順に悩まされた経験から、この原因を探りたいと思ったのがきっかけだった。

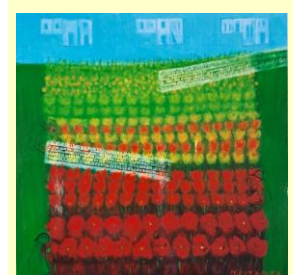
ローイング競技日本代表チームと大学内の女子長距離選手の栄養サポートをしながら、月経不順と栄養状態、心的不安についての調査研究を続けてきた。これまでに明らかになっていることは、

- ① 炭水化物の摂取量の増加
- ② 心的不安の軽減
- ③ ビタミン D 摂取量の増加

が、月経不順発生リスクを軽減する可能性があるという事である。ビタミン D については心的不安やうつ症状を軽減し、その結果、月経不順発生を防ぐ可能性があることが明らかになってきた。

では、どのように食事をコントロールすれば、月経不順発生リスクを低下させる事ができるのか。現在は、女性アスリートの月経周期ごとのエネルギー摂取量の変化について調査を進めている。アスリートは日々のエネルギー摂取量の変化が大きいと練習に悪影響があることもある。そこで着目したのがエストロゲンというホルモンである。エストロゲンには食欲抑制作用があると言われている。一般女性の場合、エストロゲンの影響で、卵胞期のエネルギー摂取量よりも、排卵後の黄体期のエネルギー摂取量の方が大きいと言われている。これは、比較的エネルギー摂取量の高いトップレベルの女性アスリートにも同じように当てはまるのかどうか、現在調査と研究を進めている。

女性アスリートにおいては、月経前と月経後の体調は人によって異なり、ホルモン分泌による変化をコントロールするのは非常に難しい。このような現状があるにもかかわらず、スポーツ現場ではパフォーマンスの向上が求められる。一方、女性アスリートが男性スタッフに月経に関する問題を相談するのは非常に難しい。実際、現在、JOC 加盟団体女性理事の割合は 22%、女性スポーツ指導者の割合は 27.5%である。スポーツ現場においては、女性アスリートが「月経の影響で体調が



北村美江会員からは、自作の油絵によるポストカードが参加者にプレゼントされ、開催に華を添えました

悪くうまく練習できません。」と男性コーチに言う。「それは気持ちが弱いのではないか」と言われるケースもあるという。

各競技団体の運営において、様々な方針を決める際に女性の意見も反映できる体制、女性アスリートが月経の問題を相談しやすい環境を整える必要があると考える。そのためには女性役員、女性指導者の割合を増やすことが必要だ。これにより、女性アスリートの立場を改善する事ができると考える。

今後も女性アスリートの月経問題を改善するための研究を続けていきたい。(記録 吉谷美知子)

**第二部** 総会議事 議長：井上里恵子 総会成立 (出席会員 11 名 委任状 10 通)

◆議案◆ 議案はすべて承認されました。

- I 1. 2022 年度事業報告 2. 2022 年度収支決算報告 3. 監査報告
- II 1. 2023～2024 年度 役員・監事
- III 1. 2023 年度事業計画 2. 2023 年度収支予算

支部の会議について  
 \*役員会は<役員>で行ないます。  
 \*運営会議は<役員>と<部会>の代表者で行ないます。

◆運営体制◆ 2023～2024 年度

<役員>

支部長 大淵智絵  
 副支部長 三上杏里  
 会計 登坂美江子 仲川幸子  
 書記 阿部美知子 吉谷美知子\*  
 \*吉谷美知子さんは5月18日の役員会で追加承認されました

<部会>

**男女共同参画部**  
 部長 高橋令子  
 副部長 阿部美知子  
 副部長 登坂美江子

**国際交流部**  
 部長 鈴木裕美  
 副部長 吉谷美知子

**社会学習部**  
 今年度活動計画無し

**親睦部**  
 部長 井上里恵子  
 副部長 仲川幸子

<監事>

五十嵐由利子 田代信子

◆交流団体などにおける当会推薦の役員◆

新潟県立大学後援会 顧問 大淵智絵  
 新潟県女性財団 評議員 五十嵐由利子

引き続き3年目の支部長を務めさせていただくことになりました。感染防止のための制限が続いた中、活動を途絶えることなく工夫と協力で乗り切っていたいただいたことを嬉しく思い、運営へのご協力にお礼を申し上げます。

これまで育ててきた「支部奨学賞」等の事業を大切にしながら、本部と力を合わせてより良い道を探り、加えて、会員の皆様が楽しく有意義に活動できるように心掛けたいと思います。女性の教育が社会を良くすることを信じて。  
 支部長 大淵智絵

**2023 年度新潟支部奨学賞の募集について**

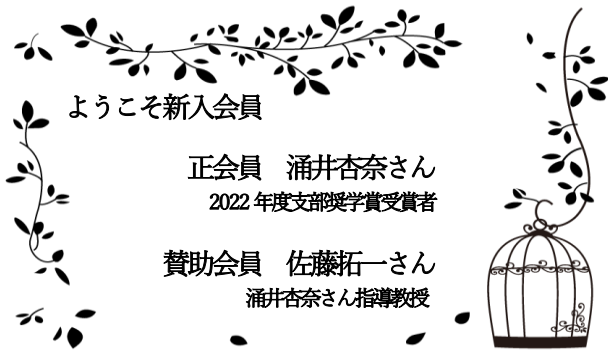
今年度も新潟県内の大学の各学部・大学院で学ぶ女子学生を対象に、新潟支部奨学賞を贈呈します。今年度の応募小論文テーマは「ジェンダー平等社会実現のためにすべきこと」です。

現代の日本社会では、女性の活躍への期待が高まっています。しかし、女性の社会進出等を示す国連のジェンダー指数から見る日本の女性の地位はまだ低い状態です。また、新型コロナウイルス感染拡大の影響は、女性の弱い立場をクローズアップしました。このような状況の中でジェンダー平等社会実現のためにすべきことを、個人、国の制度、企業や社会のありかた等の中から、自身の実感や経験を踏まえて述べていただきます。

応募受付期間は9月1日～10月10日、第74回支部奨学賞授与式は2023年12月2日(土)。実施の詳細、応募書類のダウンロードは大学女性協会新潟支部ウェブサイト <http://jauwniigata.blog.fc2.com/> から。

- 「支部奨学賞」応募要項送付校 (順不同)  
 新潟大学、新潟県立大学、新潟県立看護大学、新潟医療福祉大学、新潟国際情報大学、新潟産業大学、新潟青陵大学、新潟薬科大学、敬和学園大学、上越教育大学、長岡造形大学、長岡技術科学大学、事業創造大学院大学、三条市立大学
- 本部「国内奨学賞」応募要項送付校 (順不同)  
 新潟大学、新潟県立大学、新潟県立看護大学、新潟医療福祉大学、新潟青陵大学、新潟薬科大学、上越教育大学、長岡造形大学、長岡技術科学大学、事業創造大学院大学

## 支部の動き



### ようこそ新入会員

正会員 涌井杏奈さん  
2022 年度支部奨学賞受賞者

賛助会員 佐藤拓一さん  
涌井杏奈さん指導教授

### 【3月】

- 3/14 会計監査
- 3/20 第7回役員会・第6回運営会議、会報9号の発送  
(新潟市市民活動支援センター)

### 【4月】

- 4/17 支部総会資料作成
- 4/22 支部総会、部会  
ホームズ奨学生宮本真菜さん記念講話
- 4/22 臨時役員会・運営会議
- 4/28 災害の記憶をつなぐ寄贈先リストを本部提出
- 4/30 新潟支部ウェブサイト更新  
本部HP 支部ページ更新依頼

### 【5月】

- 5/15 会員へお知らせメール
- 5/16 小林美代子会員の葬儀へ弔電
- 5/16 小林美代子元支部長への慶弔対応を本部に申請
- 5/18 第1回役員会・運営会議、トルコ地震寄付の集約
- 5/18 会員へ郵送(総会結果、ユースの困難調査他)
- 5/20-5/21 全国支部長会、全国総会出席/大渕
- 5/30 新潟県立大学後援会総会出席/大渕

### 【6月】

- 6/4 会員へお知らせメール 調査委員会アンケート他  
以後対象者への調査協力依頼を継続
- 6/7 第2回役員会、運営会議  
(新潟市市民活動支援センター、オンライン併用)
- 6/12 (公財)新潟県女性財団第1回評議員会へ出席  
/五十嵐
- 6/14 支部奨学賞応募要項の発送 県内14大学へ
- 6/14 国内奨学生推薦依頼の郵送 県内10大学へ
- 6/15 支部ウェブサイトの更新
- 6/15 支部奨学賞応募書類を本部ホームページへ  
アップロード
- 6/20 会員へお知らせメール 奨学賞、女性財団他
- 6/21 新潟県立大学北東アジア研究所開設記念式典・  
記念セミナーへ出席/大渕

### ～おくやみ～

当会会員の小林美代子さんが5月13日に100歳の天寿を全うされました  
謹んで哀悼の意を表しますとともに  
長年に渡り当会をお支えくださいましたことに  
心より感謝を申し上げます

小林美代子さん 1955 年ご入会  
1967-68 年 75-76 年 87-88 年支部長

## 2023 年度全国支部長会、全国総会

5月20日、21日に東京のグランドプリンスホテル新高輪にて開催された全国支部長会、懇親会、全国総会に支部長の大渕が出席いたしました。

総会では新規事業である若手女性研究者の海外研修助成や調査研究、全国セミナー開催が議題に挙がり、加えて「災害の記憶をつなぐ」の発刊報告などがありました。全国支部長会では支部の活動状況などが発表され、新潟支部からは昨年度73回目となった支部奨学賞や、1999年から続く支部国際奨学賞、オンラインを有効活用した例会等の活動を報告しました。

また、大地震で被害を受けたトルコ大学女性協会へ、新潟支部有志による寄付金を持参し担当委員会へ託しました。

## ユースの生きづらさアンケート調査の実施について ～2022 全国シンポジウムから 2023 全国セミナーへ～

今年度、本部の調査研究委員会では「ケアしあう希望ある社会を目指して～ユースの生きづらさを探る～」のテーマで調査研究に取り組み、新潟支部も6月にアンケート調査を協力しました。これは2022年度の全国シンポジウム「ユースの視点から見直そうこれからの日本」を発展させたもので、今年10/21～22日に東京で開催される全国セミナーでの中間発表が計画されています。全国組織ならではの広い地域に及ぶ調査で、今後が期待されます。どうぞ全国セミナーへもご参加ください。

なお2022年度の全国シンポジウムには五十嵐由利子会員がオンライン出席しました。レポートは4ページ目の「新潟支部情報ノート」に公開していますのでリンク先からご覧ください。

## お知らせ

### 今後の行事予定

- ① 9月7日(木) 9月例会、男女共同参画部学習会
- ② 10月6日(金) 秋の親睦会
- ③ 10月21日～22日 全国セミナー(東京)
- ④ 12月2日(土) 第74回支部奨学賞授与式

○新潟支部ウェブサイト

○新潟支部情報ノート



支部発信の情報



支部に集まる様々な情報

### 男女共同参画部学習会 公開講演

「ジェンダー平等を目指すインクルーシブな社会づくり」  
～日本のジェンダーギャップの改善に向けて～

講師：定方美恵子さん

元新潟大学ダイバーシティ推進室長、新潟薬科大学看護学部長

日時：2023年9月7日(木) 13:30より

会場：新潟市市民活動支援センター と Zoom

参加費：無料 担当 男女共同参画部会長 高橋令子

9/7  
(木)

### 秋の親睦会

展覧会とランチ

日時：2023年10月6日(金) 10:30より

集合：新潟市會津八一記念館 入口

参加費：4,500円

入場券、昼食代を含みます

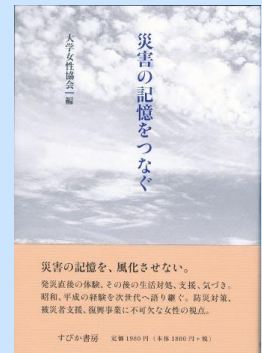
担当 親睦部会長 井上里恵子

10/6  
(金)

### 「災害の記憶をつなぐ」発刊

このたび、本部生涯学習委員会の編集により「災害の記憶をつなぐ」が発刊されました。当支部からは大淵智絵、高橋令子、田代信子が執筆に参加し、2004年の東日本大震災、1964年の新潟地震の体験記が掲載されています。お手に取ってご覧いただけましたら幸いです。

「災害の記憶をつなぐ」 大学女性協会 [編] 46判 縦組み 216頁 定価：1980円  
発行：すびか書房 ISBN978-4-902630-31-2 昭和、平成の災害の記憶を風化させないために、次世代へ語り継ぐ。発災直後の体験、その後の生活対処、支援、さまざまな気づき。防災対策、被災者支援、復興事業に不可欠なジェンダー/女性の視点からの発言集。



### 本部より

- ① 全国セミナー 10月21日(土) 22日(日) 東京にて テーマ「ユースの力を日本の未来に活かすために」
- ② 第68回国連女性の地位委員会(CSW68)参加若手支援 希望者募集 9/25応募締め切り
- ③ 本部の各委員会では全国の正会員が委員として活動中です。関心のある方は支部長までお知らせください。

役員選考委員会、HP管理委員会、企画委員会

事業等委員会(調査・研究、国内奨学、社会福祉、科学研究奨励、国際奨学、文化交流、国際ネットワーク)

業務等委員会(会員、広報、親睦事業、収益事業、文化事業、生涯学習)

\*本部ホームページは「JAUW」と検索、または上記の支部ウェブサイトのリンクからどうぞ。

### 編集後記

桜からさつき、あじさいと道路脇の花々が美しいですね。今号には、総会講話報告をお寄せ致しました。宮本真菜さんも高校大学とダンスをなさっていておきれいな方、質疑応答には賛助会員になって下さった佐藤拓一さん初め質問が沢山、丁寧に答え頂きました。

4年ぶりの対面の総会開催、皆様にも会報を通して体験して頂けたら幸いです。

会報担当 吉谷美知子

会報担当(五十音順)

阿部、大淵、三上、吉谷

新潟支部会報 No.10

(一社) 大学女性協会新潟支部

支部長 大淵智絵

<http://jauwniigata.blog.fc2.com/>

発行日 2023年7月15日